

# 麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 勇人

104

令和7年  
7月10日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

## 医療は永久に不滅であるべき存在として

令和7年7月1日、私たち医療法人光臨会はおかげさまで開院39周年を迎えました。この日を迎えることができたのは、患者さま、地域の皆さま、そして日々現場で尽力する職員一同の献身のおかげです。心より感謝申し上げます。

この節目の年、私たちの社会はかつてないほど大きな転換点にあります。2025年、ドナルド・トランプ氏が大統領に再登板し、再び“ディール第一”の姿勢を鮮明に打ち出しています。米中間の対立は深まり、相互の関税措置が強化され、グローバル経済は不安定さを増しています。サプライチェーンの混乱や為替の急変動が、日々の暮らしにまで影響を及ぼすようになりました。

また、世界各地では戦火が収まる気配を見せていません。ロシアによるウクライナ侵攻は長期化し、中東ではイスラエルとパレスチナ、さらにイランを巻き込んだ戦闘が激化の一途をたどっています。国際社会は多極化と不信の中にあり、平和と安定がいかに脆いものであるかを痛感させられる日々です。

こうした世界情勢の影響を受けて、わが国日本もまた多くの課題に直面しています。石破茂総理のもとで政治の再建と改革が進められていますが、長年の経済停滞からの本格的脱却は容易ではありません。医療や介護といった社会保障分野の財源は限界に近づき、国民皆保険制度の持続可能性が問われています。

2024年度の診療報酬改定では、多くの大中小病院が実質的に減収となり、経営が厳しさを増しています。すでに赤字経営に陥った医療機関が全国で相次ぎ、「地域医療の崩壊」という言葉が現実味を帯びてきました。こうした状況に対し、政府は医療財政の緊急補填や地域支援の拡充に乗り出していますが、対症療法の域を出ていないとの声も根強くあります。

私たち医療法人光臨会も、果たしてこの先、存続しうるのか——そう自問することがあります。しかし、その問いに対する答えは、常に明快です。いかなる時代であっても、「人が人として生きる限り、医療は不滅でなければならない」という信念です。

先日、長年日本プロ野球界を牽引してきた長嶋茂雄さんが旅立たれました。多くの人々の記憶に残る彼の名言——「巨人軍は永久に不滅です」は、スポーツ界のみならず、あらゆる分野に生きる人々への激励でもあります。私はこの言葉を聞きながら、「医療もまた永久に不滅であるべきだ」と強く心に刻みました。

どれほど国際情勢が混迷し、国家財政が厳しさを増しても、病める人のそばに立ち、支える営みは、時代を超えて求められる普遍の使命です。

令和7年7月  
医療法人光臨会  
会長 荒木 攻

### もくじ

- 1 医療は永久に不滅であるべき存在として
- 2 新任医師就任挨拶  
令和7年4月新入職員辞令交付式・歓迎会について
- 3 救急部の紹介 / 小児科（けいれん外来）の紹介
- 4 光臨会研修施設 開東館の管理人交代 / 夏の脳卒中予防
- 5 近隣医療機関のご紹介 ——（医療法人 隅田耳鼻咽喉科医院）——

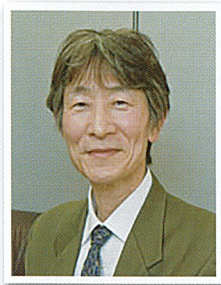


## 新任医師就任挨拶

このたび、広島大学脳神経外科 堀江信貴教授の御高配により、令和7年4月1日付けで呉医療センターから異動して参りました磯部尚幸と申します。

出身は静岡県で、今年春の高校野球県大会でベスト4に残った磐田南の理数科から昭和59年に広島大学に入学、平成2年に卒業し脳外科へ入局しました。これまで大学・県病院・公立三次中央（現市立三次中央）・安佐市民にて研鑽を積み、平成21年4月から市立三次中央、平成27年4月よりJA尾道総合、令和2年4月からは呉で脳外科の責任者として勤務させて頂いておりました。三次や尾道では病床数300台の地域中核病院で神経内科はなく、救急医も不在あるいは1名でしたので、脳梗塞・脳炎等の内科的疾患や多発外傷等、手術を要さない患者さんの対応も数多く経験してきました。赴任の際に荒木会長より『救急と手術室運営に力を注ぐように』との命を賜り、当院の『断らない救急』を継続すべく日々の診療に取り組む所存です。

大学では「脳腫瘍グループ」に属していたこともあり「血管内治療専門医」の取得が令和6年と日が浅く、開頭術の方も“神の手”は有しておりません。今年8月には還暦を迎え「遠視」が手術手技を惑わす年齢になりますが、中学は軟式野球、高校は硬庭、大学はバレーと学生時代はスポーツ一辺倒の生活を送っており、体力と粘りの精神だけは若干人よりあろうかと思えます。年輩者ではございますが己のできる最善を尽くし確実な手術をモットーに患者さん第一の精神で、少しでも地域医療に貢献できるよう努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。



副院長 磯部 尚幸

## 令和7年4月新入職員辞令交付式・歓迎会について

4月1日に、新入職員辞令交付式と法人内研修を実施しました。4月は、新卒職員18名、中途職員15名の計33名が入職されました。当日は、荒木勇人理事長から、辞令交付を受け、各人新たな気持ちで臨んでおりました。

その後、荒木勇人理事長からの講話をはじめ、当法人の特徴や各部門の役割など、幅広い内容の説明を2日間受講しました。

4月2日の夜に、広島サンプラザで、新入職員歓迎会を実施しました。

当法人への期待感の一方、不安感も持って入职されたと思いますが、先輩職員との交流を経て、安心感と、ここで頑張ろうという思いを新たに持たれていました。

また、新卒の新入職員18名については、4月3日から4日に、当法人の研修施設である開東館（庄原市西城町）において、宿泊研修を実施しました。4月3日は、荒木攻会長から新入職員としての心構えや社会人としての考え方等を先達の言葉を交え講義を頂きました。その後、じゃがいもの植付けや茶道体験などを行いました。4月4日は、チームビルディングなどのグループ研修を行い、お昼には、西城町の上野公園でお弁当を囲み、花見を楽しみました。

総務部 藤原 淳壮





## 救急部の紹介

当院の救急医療は、緊急性・専門性の高い脳卒中や頭部外傷など脳神経外科病院として高度な専門医療を実施し、地域の救急患者を最終的に受け入れる役割を果たしています。

救急部は昨年10月に、救急医療および手術の円滑な運営と更なる発展を目的に新設されました。現在は、臨床工学士（ME）4名と院内救急救命士1名が、救急外来看護師8名と共に救急外来と手術業務を担っています。4月には救急担当の磯部副院長が就任され、救急医療のソフト面が徐々に整いつつあります。

脳神経外科領域の超急性期治療は時間が勝負です。年間約200件の手術件数の内、最も多いのは脳血管内手術（45%）で、その半数は緊急手術になります。経皮的脳血栓回収術においては、発症から手術開始までの時間短縮が重要で、治療効果がその後の患者さんの日常生活やADLに影響します。そのため、私たちは、日頃から他職種と連携を密に図り、24時間いつでも対応できるよう体制を整えています。

救急部の課題は、人員確保と手術技術の質向上だと捉えています。特に、手術技術の習得は時間を要し、教育には手順を教えるだけでなく根拠が重要となります。指導者の育成、新人の指導方法にも工夫が必要で、他職種とのタスク・シフトも考慮しなければなりません。救急部は、これからも24時間対応できる救急医療を維持・発展させるために努力していきたいと思っています。

救急部 担当部長 杉山 直子



## あらき脳・循環器・リハビリクリニック小児科(けいれん外来)の紹介

小児科(けいれん外来)を担当させていただいています岸高正と申します。令和6年6月1日のサテライトクリニックの開院時から、本院から移動して、現在に至っています。

簡単に、自己紹介をさせていただきます。昭和55年、広島大学の卒業で、すぐ小児科へ入局しています。大学病院では神経外来を担当させていただいていました。その後、昭和61年から3年間大田原俊輔先生が主宰されている岡山大学病院小児神経科の研究生をさせていただいて、臨床てんかん学や脳波学の研鑽をさせていただきました。その後、呉医療センター、広島記念病院での勤務を経て、令和3年4月から荒木脳神経外科病院でお世話になっています。

資格としては、小児科専門医、小児神経学会専門医、てんかん学会専門医・指導医を持っており、てんかん診療、特に小児期のてんかんを得意としております。小児科発症のてんかんは多彩で特徴的な症状や脳波所見を呈し、治療が奏功する例も多く、将来あるお子さんの健やかな成長に少しでもお役に立てればと日々診療にあたっています。

笑顔で患者目線の対応を心掛けております。気軽に相談できる街のクリニックを目指しています。よろしくお願いいたします。

あらき脳・循環器・リハビリクリニック 岸 高正





## 光臨会研修施設 開東館の管理人交代

医療法人光臨会の研修施設である開東館（庄原市西城町）の管理人に、この度令和7年4月から荒木幸夫さんに就任していただいています。これまで長きにわたり管理人を務めていただいた伊藤茂さんには退職にあたって光臨会 荒木攻会長から表彰状と記念品を贈呈させていただきました。



新管理人：荒木幸夫さん(左)  
前管理人：伊藤茂さん(右)



## 夏の脳卒中予防

従来、脳梗塞や脳出血は血圧が上昇しやすい冬に多い病気として知られていました。ところが、国立循環器病センターの調査によると、脳梗塞に限っては夏も冬も同じくらいの割合で発症することがわかっています。

その主な原因とされるのが脱水症状です。夏は汗をかくため、気づかないうちに体内の水分が不足がちになります。

### ◆水の働き

#### ①栄養素を運ぶ

血液の半分以上は「血漿」という液体でできており、その役 90%が水分です。生きていくために必要な酸素、栄養素、ホルモンや菌・ウイルスと戦う免疫細胞は全てこの水分によって体中に送り届けられます。逆に、老廃物や体に不必要な物を運び出すのも水分です。

#### ②体温を一定に保つ

暑い場所にいるときは発汗して体温が上がらないように調節しています。

#### ③消化機能を高める

唾液や胃液などの消化液もおおよそ 9 割が水分でできており、栄養素を分解、消化吸収するために水が使われます。体の水分は汗や息からも常に失われています。これが過剰になると脱水症状として、頭痛、便秘、むくみなど様々な影響が体に現れます。

### ◆水分補給のコツ

#### \*水など利尿作用のない飲み物でとりましょう

コーヒーやお茶は利尿作用があるものもあり、十分に摂っているつもりでも体内の水分が失われていることがあります。

#### \*スポーツドリンクは運動や肉体労働など汗をかいたときに

汗をかいたときに失われるナトリウムや電解質、砂糖などの糖質が含まれるため日常生活での水分補給は注意が必要です。

#### \*お酒で水分補給？

アルコールには利尿作用があるため飲んだ以上に尿となって水分が排出されてしまうことが多く脱水が進んでしまうことがあります。チェイサーで水を飲みながら楽しみましょう。

#### \*1回あたりコップ 1 杯(200ml)が目安です。一気飲みをすると胃腸に負担がかかるため少しずつ飲みましょう。

「のどが渴いた」と感じたときにはすでに脱水が始まっています。高齢になるとのどの渴きに気づきにくくなるので定期的に水分を摂ることが大切です。



# 近隣医療機関のご紹介

## 医療法人 隅田耳鼻咽喉科医院

住 所：〒733-0812 広島県広島市西区己斐本町 3 丁目 1-3

T E L：082-272-5252

診療科目：耳鼻咽喉科

院長・理事長：隅田 伸二

H P：https://www.sumidajibika.com



院長・理事長  
隅田 伸二先生

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日/祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 9:00~12:00  | ● | ● | ● | ▲ | ● | ▲ | —   |
| 14:30~18:00 | ● | ● | ● | — | ● | — | —   |

▲ 9:00~12:30

\*木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日は休診になります



当院は昭和38年に私の父が己斐本町一丁目に開業し、昭和45年に己斐本町三丁目の現在地に移転しました。親子二代にわたり、60年以上己斐で耳鼻咽喉科診療を続けてきました。私は約15年間の病院勤務を経て平成16年より当院で診療をしています。耳鼻咽喉科では一般的な、中耳炎や上気道炎、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎等で受診される方が多かったのですが、子供さんの減少、細菌性感染症の軽症化等で随分と変わってきました。

高齢化に伴い起こる不調について受診される方が増えています。難聴、耳鳴り、フラツキ、喉の乾燥、味覚・嗅覚の低下などです。中でも難聴は認知機能低下の大きなリスク因子であり、諸外国に比べ日本人の補聴器装用率は著しく低いと言われています。もっと補聴器を積極的に活用できるよう、補聴器のフィッティングと試聴、貸出や購入後のフォローを行う補聴器外来の日を設けています。購入に際して或いは購入後に適切なフィッティングができておらず購入したものの活用できずに死蔵している方が多数いらっしゃいますし、そういう方の感想が伝わり補聴器に対する拒絶感につながっているようです。このようなことが起こらないように、難聴でお困りの方はまずは耳鼻咽喉科を受診して相談して頂きたいと思います。

また耳鼻咽喉科で往診を行う医療機関が少ないので、依頼があった場合は在宅の患者さんへの往診も行っています。

荒木脳神経外科病院には主に画像検査で大変お世話になっています。耳では慢性中耳炎や聴神経腫瘍、鼻では副鼻腔炎や顔面外傷、頸部では耳下腺その他の腫瘍性疾患等とCT、MRIが診断に必要となる疾患が多々ありますが、ほぼ100%荒木脳神経外科にお願いしています。病診連携によりオンラインで検査予約、画像閲覧が出来ますのでとても便利で助かっています。今後も依頼することが多いと思いますので宜しくお願いいたします。



外観



診察室



外来担当医表 〈荒木脳神経外科病院〉

|       |    |     | 月     | 火  | 水     | 木  | 金     | 土  |
|-------|----|-----|-------|----|-------|----|-------|----|
| 脳神経外科 | 午前 | 初診  | 渋谷    | 中原 | 磯部    | 黒川 | 江本    | 広大 |
|       |    | 初再診 | 荒木理事長 | 黒川 | 渋谷    | 磯部 | 渋谷    |    |
|       |    |     |       |    | 荒木理事長 |    | 荒木理事長 |    |
|       | 午後 | 初再診 | 江本    | 磯部 | 広大    | 渋谷 | 黒川    | 広大 |

|       |    |      |  |      |  |      |      |      |
|-------|----|------|--|------|--|------|------|------|
| 脳神経内科 | 午前 | 初再診  |  | 荒木睦子 |  | 正廣   | 荒木睦子 | 荒木睦子 |
|       | 午後 | 再診のみ |  |      |  | 荒木睦子 |      |      |

|      |    |     |               |               |               |               |                                             |  |
|------|----|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------------------------------------|--|
| 総合診療 | 午前 | 初再診 | 野村<br>(循環器内科) | 浅本<br>(消化器内科) | 野村<br>(循環器内科) | 浅本<br>(消化器内科) | 藤井<br>(外科:1週)<br>野村<br>(循環器内科:<br>2・3・4・5週) |  |
|      |    |     |               |               |               |               | 井上<br>(消化器内科)                               |  |
|      | 午後 | 初再診 | 藤井<br>(外科)    | 藤井<br>(外科)    | 藤井<br>(外科)    | 藤井<br>(外科)    | 藤井<br>(外科:1週)<br>野村<br>(循環器内科:<br>2・3・4・5週) |  |
|      |    |     |               |               |               |               |                                             |  |

診察時間

午前 9 時～12 時  
(初診受付: 午前 11 時 30 分迄)  
午後 3 時～6 時  
(初診受付: 午後 5 時 30 分迄)

診察予約は

082-272-1114 (代表)

へお電話ください。

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授  
第 2 土曜日 月 1 回

外来担当医表 〈あらき脳・循環器・リハビリクリニック〉

|                 |    |      | 月    | 火 | 水  | 木  | 金    | 土  |
|-----------------|----|------|------|---|----|----|------|----|
| 脳神経外科           | 午前 | 初再診  | 江本   |   | 江本 | 江本 | (本院) | 江本 |
|                 | 午後 | 初再診  | (本院) |   | 江本 | 江本 | 江本   | 江本 |
| けいれん外来<br>(小児科) | 午前 | 再診のみ | 岸    | 岸 |    | 岸  | 岸    |    |
|                 | 午後 | 再診のみ | 岸    | 岸 |    | 岸  | 岸    |    |

診察時間

午前 9 時 30 分～12 時 30 分  
(初診受付: 午前 12 時迄)  
午後 2 時 30 分～5 時 30 分  
(初診受付: 午後 5 時迄)

※内科 正木先生  
毎週火曜

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7  
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-1218  
E-mail info@arakihp.jp  
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp



ARAKI HEALTHCARE PLAZA

〒733-0821 広島市西区庚午北 1 丁目 5-15

1F デイサービス あらき

TEL 082-507-6100

1F 荒木居宅介護支援事業所

TEL 082-507-6300

2F あらき脳・循環器・リハビリクリニック

TEL 082-208-4114

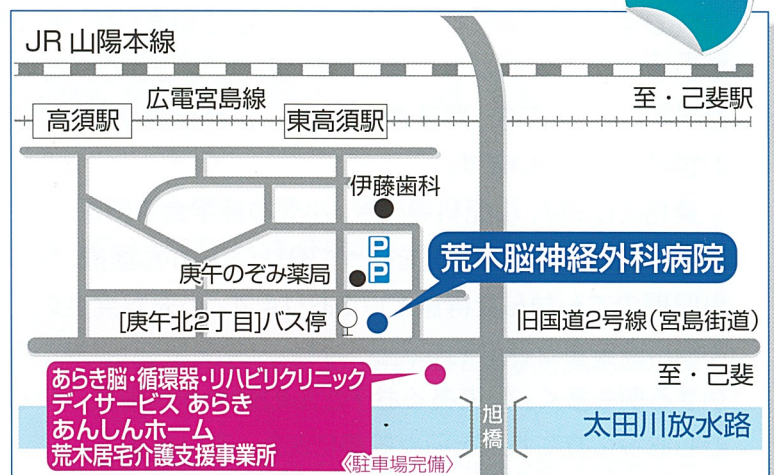
通所リハビリテーション TEL 082-208-4177

訪問リハビリテーション TEL 082-527-1123

4・5F あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

TEL 082-507-6600

案内図



交通案内

- 自動車  
西広島バイパス「庚午出口」より  
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線 / 「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線 / 「庚午北2丁目」バス停前